

## ＜自己評価結果公表＞

新保保育園

R8、3、2

1, 園の保育目標

「強く 優しく 賢い子」

2, 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した園評価の具体的な目標や計画（3の評価項目に記載）

3, 評価項目の達成及び取り組み状況

【評価基準】…Aよくできている Bまあまあできている Cあまりできていない D全くできていない

目標	結果	理由	課題
<b>評価項目</b> <b>0歳児</b> <b>「たくさん遊んで</b> <b>食べて眠り、安</b> <b>心して過ごす」</b>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よく遊び、色々な経験を通し、友達との関わりも増え、楽しそうにしている。</li> <li>・絵本・音楽に合わせて身体を動かすことを喜び、表現力があり表情豊かな姿がある。</li> <li>・給食…幼児食に移行し、全体的には好き嫌いも見られるが、よく食べている</li> <li>・昼寝…よく眠れている</li> <li>・制作活動…手先を使ったり、クレヨンで描くなど経験できた。</li> <li>・色々な場所や人との関わりによって信頼感ができ、安心して過ごせた。</li> <li>・保護者とのコミュニケーションをとることで、家での様子を知り、健康管理にも努めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達や保育者との関わりを増やし、楽しく過ごせるよう、環境設定を工夫していく。</li> </ul>
<b>1歳児</b> <b>「安心できる保育</b> <b>者との関わり</b> <b>のもとで、簡単な</b>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者（担任）との信頼関係ができ、担任が安全基地になっている。困ったら保育者のところで充電し、また遊びに戻っていく姿がよくある。現在1・2組合同ですごしているが、どの担任でも大丈夫になっている。</li> <li>・身の回りのことも自分でしようとする姿が見られ、エプロン・おしぼりを自分でしまったり、ズボン・靴下の着脱にも意欲的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級に向けて、なるべくできることはじぶんでしようとする意欲を育てていく。</li> <li>・声掛けをしながら、出来ないこともさりげなく援助をして、できた満足感や充実感を味わえるようにする。</li> </ul>

<p>身の回りの活動を自分でしようとする」</p>			
<p>2歳児 「保育者や友達と一緒にのびのびと身体を動かす楽しさを知る」</p>	<p>A</p>	<p>月齢によって、個人差はあるが、それぞれ身体を動かして遊ぶことを楽しんでいる姿が見られる。戸外や室内でも身体を動かす遊びを設定し、どの子どもも喜んでいた。</p> <p>探索活動が好きな子どもがいるが、十分に楽しんだのを見極めてから誘えば、身体を動かす遊びも嫌がらず参加していた。</p> <p>転がしドッジボールやしっぽ取り遊びは、最初ルールが理解できなかったり負けることが嫌な子ども見られたが、回を重ねる内に楽しみ方が分かり、子ども達のほうから要望が出るほど、楽しむことができています。</p>	<p>・子ども達がお互い誘い合って、友達関係を築いていきながら、遊びを楽しめるようにする。</p>
<p>3歳児 「園生活の流れや生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする」</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初めての3歳以上児の組だったが、朝の身支度の仕方や生活・活動の流れをすぐに覚えることができていた。</li> <li>・制服ボタンの着脱や箸の使い方などに個人差はあったが、担任と一緒にチャレンジしていくことで、少しずつ自分のことは自分でできるようになり、自信に繋がっていくことができた。</li> <li>・話をしっかり聞こうとする姿勢がよく見られたので、それが成長に繋がっているように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の気持ちを伝えられるようにする。</li> <li>・友達と関わる中で、相手の気持ちに気付き、思いやりを持って、接することができるようにする。</li> </ul>

<p><b>4歳児</b></p> <p>「<b>集団で活動する中で、自分の思いを言葉で伝えたり、相手の気持ちに気づいたりして関わりを深める</b>」</p>	<p><b>A</b></p>	<p>嬉しいこと、楽しいことを共有して活動を深めることはもちろん、困ったこと悪かったことなども、どう言葉にしたら良いのか考えて伝えながら関わっていたことで、落ち着いて言葉で伝えられるようになった。</p> <p>友達との気持ちのぶつかり合いの時は、相手の気持ちは分かっている、自分の気持ちとの折り合いがつけられない場面もある。一方で、他児のトラブルを気遣い、仲介するような姿も見られるので、葛藤を繰り返しながら意識できるようになってきている様子である。</p>	<p>・会話が盛り上がり過ぎてしまうことが増えているので、話す時と聞く時のメリハリをつけられるようになると良い。</p>
<p><b>5歳児</b></p> <p>「<b>集団生活の中で、達成感や充実感をみんな味わう</b>」</p>	<p><b>A</b></p>	<p>園内行事だけではなく、園外活動を計画し、実現する中で、年長にしかできないことや自覚を持って取り組み、楽しむことができた。また、運動会や発表会など、クラス全体で協力して取り組むことができ、一人一人の自信につなげることができた。</p>	<p>・子ども達の経験の一つとして、様々な園外活動を計画している。お弁当の準備や早い登園など、事前に保護者に伝えて理解と協力してもらうことが必要になる。そのため、担任の思いを伝えて、理解してもらう。</p>

#### 4, 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度より作成したグランドデザインで掲げた、園の保育目標「強く 優しく 賢い子」を基に、各学年ごとに設定した目標を目指して保育を進めてきた。目指す姿に向けて取り組めたことは良かった。ただ、保育者自身考え方や受け止め方の違いにより、保育の進め方において担任間でのズレが生じるなど、細かい部分で改善点が必要だと感じた。次年度に繋げていきたい。</li> <li>・全学年の保護者から、初の連絡アプリ（コドモン）でのアンケートを取り、今年度の活動についてのご意見・感想をいただくことができた。それらを踏まえて引き続き評価計画の作成、保育活動の成果・課題として保護者に見えやすく、よりわかりやすく行えるようにしていきたい。</li> <li>・実践した成功例を、具体的に保護者にも伝え、園と家庭が同じ様に進めることができるとよいと感じた。</li> </ul>

#### 5, 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
評価に対する周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡アプリ（コドモン）、ホームページ等に評価について簡潔にまとめたもの、どのような評価をしているのか載せる。毎年、継続していく。</li> </ul>
取り組みについて 保護者協力と地域関係者の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評価をもとに、園・保護者・地域の協力、改善することを分類する。 地域に対しては訪問・来園の際に伝えられるようにする。</li> </ul>